



がくしゅうもくひょう
【学習目標】

- 日常生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の言語文化に親しんだり理解したりすることができるようになる。
- 筋道立てて考える力や豊かに感じたり想像したりする力を養い、日常生活における人との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えをまとめることができるようにする。
- 言葉がもつよさに気付くとともに、幅広く読書をし、国語を大切にして、思いや考えを伝え合おうとする態度を養う。

がくしゅうすす
【学習を進めるにあたって】

しようきょうざい 使用教材		
きょうかしよ 教科書	こくごさん 「国語三 わかば」	(みつむらとしよ 光村図書)
	しよしやさんねん 「書写三年」	(みつむらとしよ 光村図書)
ふくきょうざい 副教材	かんじ 漢字ドリル	(にほんひょうじゆん 日本標準)
	かんじ 漢字ドリルノート	(にほんひょうじゆん 日本標準)
	じ ローマ字ノート	(あおばしゆつばん 青葉出版)

ももの 持ち物		
きょうかしよ 教科書	ノート	かんじ 漢字ドリル
こくごじてん 国語辞典	しゅうじどうぐ 習字道具	

がくしゅうやくそく
【学習の約束】

- 前日までに学習内容を読み、疑問に思うことに印をしたり、わからない言葉を調べる等予習をしてみましょう。
- 授業では、板書・気づいたこと等をノートに工夫して書きましょう。
- 積極的に発表して、考えを伝え合いましょ。
- ノートやプリントなどの提出期限を守りましょう。
- 学習の用意をわすれないようにしましょう。
- 次の学習の準備をしてから休みましょう。
- チャイムと同時に、授業を始められるようにしましょう。
- 呼ばれたら、大きな声ではっきりと返事をしましょう。
- 席をはなれる時は、いすを入れましょ。

【学習内容】(☆は書写)

前 期	後 期
1. 春風をたどって ☆書くしせいと用具のあつかい方 ○もっと知りたい、友だちのこと ☆点画のしゅるい 2. こまを楽しむ ☆横画「二」 ○気持ちをかめて「来てください」 ☆たて画「土」 3. まいごのかぎ ☆おれ「日」 ○仕事のくふう、見つけたよ ☆小筆で書いてみよう ○わたしと小鳥とすずと ☆左はらいと右はらい「木」 ○夕日がせなかをおしてくる ☆書写広げたい①②	1. ちいちゃんのかげおくり 5. モチモチの木 ○おすすめの一さつを決めよう 2. すがたをかえる大豆 ☆点とはね「小」 食べ物 <small>た もの</small> のひみつを教えます ☆曲がり「元」 3. 三年とうげ ☆曲がり「元」 ○わたしの町のよいところ ☆平がな「つり」 ○詩のくふうを楽しもう ☆文字の配列 4. ありの行列 ☆書きぞめ「正月」 小島 <small>しま</small> のぼうけん ☆三年生のまとめ「水玉」 お気に入りの場所 <small>おき い ばしょ</small> 教えます

【評価の観点および場面・方法】

評価の観点		評価の場面・方法
知識・技能	読む	思いや考えが伝わるように音読する。 授業での音読 宿題の音読 音読テスト
	ことば言葉	文字を丁寧に書く。(書写) 書写の作品(毛筆・硬筆) ノート 漢字プリント 漢字スキル
		習った漢字を正しく書く。 単元テスト 漢字小テスト ワークシート ノート 漢字プリント 漢字スキル 作文 ふり返し ことばのきまりが分かる。 単元テスト ワークシート ノート
思考・表現	話す	筋道をはっきりさせて話す。 発言・発表 授業の様子 スピーチ
	聞く	話し手の意図を考えながら聞く。 発言・発表 授業の様子 単元テスト(聞くテスト) ノート
	書く	自分の考えや行動を豊かに表現する。 作文 ノート ふり返し ワークシート 単元テスト
	読む	内容を正確に読み取る。 発言・発表 授業の様子 単元テスト ノート
取り組み態度	主体的に国語の学習に取り組む。 ・進んで読書をする。 ・言葉をよりよく使おうとしている。 ・言葉を通じて積極的に、思いや考えを伝えようとしている。 発言・発表 授業の様子 読書の記録 スピーチ 作文 ふり返し ノート 自主学習	